



木曽地区協議会

会報 2024年度 1号

発行 木曽地区協議会

会長 金子清勝

連絡先 市民協働推進課

2024年度会報の発行に当たり、木曽地区協議会の事業計画並びに
会長からの挨拶と、活動状況をご報告いたします。

小中の児童生徒も無事卒業され、思いを膨らませ、
未知に向かって学び舎を後にされたことでしょう。
ご家庭の皆様にも共に祝うがごとく桜が咲き
誇りました。私からもお祝い申しあげます。



さて、木曽地区協議会では令和6年(2024)年度の
「事業計画」として、協議会構成団体の周知は基より、
それぞれに企画を募り交流活動を介し、地域融和を図ってまいりました。
6月「ヤングケアラーを知ろう」…若年にして母親の介護実体験者の講演
会、10月「オレンジランプ」…39歳パパの認知症実話をもとに描く希望と
再生のやさしさに満ちた物語の上映会、今年3月「木曽歴史ポイントラリ
ー」では、ゴール富士見公園広場にて木曽子どもクラブ「きそっち」との初
コラボにて、ゲーム大会が盛大に行われました。これらが地域交流事業では
特筆されます。

別段、私事になりますが、先の木曽地区連合会役員会にて健康上の都合で
会長の退職を申し出したところ了承され、つづいて会長会に諮り了承されま
した。今期を以って代表を退任いたします。後任については内定済み、連合
会、協議会の総会を経て承認後公表されます。

終わりに町田市協働推進課、構成団体、役員諸氏の熱意とご厚情に感謝致
すと共に、これから木曽地区協議会の更なる発展にご尽力賜ります様お願
い申し上げご挨拶と致します。

木曽地区協議会 代表 金子清勝

2024年度の事業計画

- 1 広報広聴事業 広報誌の発行
 - 2 地域活性・交流事業
- *ポイントラリー *ヤングケアラー講演会
 - *オレンジランプ上映会
 - *地震火災体験 *地域防災VR体験
 - *スポーツ促進事業(ボッチャ)
 - *ナダレンジャー
 - *地域探求授業 *いのちの授業

木曽地区協議会 構成団体

木曽地区連合会(14町内会・自治会)
青少年健全育成忠生第三地区委員会
青少年健全育成忠生第六地区委員会
忠生第二地区民生委員児童委員協議会
木曽境川小学校・忠生第三小学校・町田第三中学校
木曽中学校・町田総合高等学校・ひかりの子保育園
町田市消防団第4分団・忠生第2高齢者支援センター
町田第1高齢者支援センター・木曽商工ネット
町田市社会福祉協議会

2024年度の取り組み

地震・火災体験 (9月14日 実施)

木曽地区の小学2年生から小学6年生まで児童33名が、横浜市民防災センターで地震の揺れや初期消火体験、災害発生時の対応などを体験する地震火災体験ツアーに参加しました。子どもたちからは、「消火器の使い方がわかった」、「震度が10段階あることがわかった」、「家具に転倒防止の器具をつけることが大事」、「緊急地震速報が鳴ったらダンゴムシのポーズでテーブルの下に隠れる」などの感想があり、有意義な楽しい一日となりました。



オレンジ・ランプ上映会 (10月8日 開催)

木曽山崎コミュニティセンターで、映画「オレンジ・ランプ」の上演会を開催しました。90名ほどの参加があり、映画鑑賞の後には、おれんじ薬局の井上さんから認知症についての相談窓口の紹介や、市内で活動している「まちだDサミット」・「Dカフェ」・「Dブックス」についてご講演いただきました。

今回の取り組みは「認知症になっても誰もが安心して暮らせる街」を目指して、木曽地区内で活動されている皆さんとのコラボ開催でした。



地域防災学習 (11月19日 開催)

忠生第三小学校、木曽境川小学校の小学3年生201名が、つくば科学教育マイスターのDr.ナダレンジャー納口恭明氏による防災科学実験ショーに参加し、科学的な物の見方からメカニズムをとおして災害について勉強しました。

子どもたちからは、震災実話である講話から「落石を家族の協力で乗り切った話がすごかった。」、地震時のビルの揺れ方のメカニズムの体験から「発泡スチロールのブロックを組み立てるところがおもしろかった」などの感想があり、災害のメカニズムを習得でき好評に終わりました。



地震・火災の模擬体験研修 (11月28日 開催)

忠生第三小学校の5年生と、その保護者や地域住民でVRを使った地震・火災の模擬体験研修を行いました。参加者からは「地震の激しい揺れは、とても迫力があり怖かった。」「火災の煙体験では、煙で周りの様子が見えず、現実だったら、パニックになりそう。」「冷静に落ち着いて行動する、心づもりが必要だと思いました。」などの感想をいただきました。また、参加した子ども達からは、「非常口の表示が下にもあると火災の際、見やすくて良いのでは」という提案もありました。



ポイントラリー (3月8日 実施)

雪もちらつく天気の中、木曽子どもクラブ（きそっち）の企画で「木曽の歴史ポイントラリー」が行われ、総勢250名が参加しました。忠生第三小学校の子どもたちも、スタッフとしてゲームの運営を手伝ってくれました。

参加者からは、「凄く楽しかった」、「知らない所がいっぱいあった」、「ゲームが楽しかった」、「家族で歩いて良かった」などの感想をいただきました。



いのちの授業 (3月11日 実施)

いのちの授業研究会より助産師の三木佳代子さん、サポートで助産師の松沢裕子さん、柔原さやかさん、地域の赤ちゃんとそのご家族12組をお招きして、木曽中学校の体育館内で、中学校3年生を対象にいのちの授業を開催しました。いのちの始まりから誕生までの軌跡（奇跡）と大切さを実感できる講演と体験活動を行いました。生徒からは「私たちが生まれてくるにはたくさんの過程や苦労があり、生まれてくることは奇跡だと思った。」「妊娠するまでには時間がかかり、妊娠できるとは限らないことがよく分かった。そのため、命を大切にしていきたい。」などの感想がありました。



ヤングケアラー講演会 (6月21日 開催)

一般社団法人ケアラーワークス 代表理事 田中悠美子先生からヤングケアラーについて丁寧な説明をしていただき、ヤングケアラーの内容を理解することができました。その後にヤングケアラー当事者であった友田智佳恵さんから当時の体験をもとに思うことなど、お聞きして有意義な時間となりました。

31名の参加者からは、「子どもたちの気持ちに寄り添うことが大切だと感じた」、「話せる人、話せる場所がないので、一人で抱えてしまいSOSが出しにくく、「助けて」と言えるように「助けて」の声を受け止めて支援に繋がれたらと思った。」などの感想をいただきました。



「サポートオフィス通信」に木曽地区協議会のインタビュー記事が掲載されました！

Topics 地域の取り組み・仕組み

大解剖 vol.1 地区協議会

地区協議会とは

地区協議会は、地区の特性と資源をいかして、地区の課題を自ら解決し、さらに魅力発信や向上に取り組む団体同士のネットワークで、市内の全10地区で設立されています。

町田市町内会・自治会連合会の地区連合会、町田市青少年健全育成地区委員会、町田市民生委員児童委員協議会のほか、学校、社会福祉法人、町社会福祉協議会、消防団や地域活動団体など、様々な団体が参加・協力しています。



写真で見る地区協議会の取り組み

各地区協議会では、地区協議会ニュース等の広報活動のほか、地域ごとに異なる課題や特性を生かしながら、趣向を凝らした取り組みが行われています。ここでは、各地区協議会の取り組みの一部をご紹介します。

 各地域の全取り組みは、右記二次元コードのリンク先でご確認いただけます。



CASE 01 小山・小山ヶ丘地区ネットワーク協議会

実施事業名:つながるフードドライブ

各家庭・事業所に備蓄されている防災用品の見直しを呼びかけ、賞味期限の近い食料品をフードドライブにお持ちいただくことで、地域密着の循環型社会の形成を目指しています。



CASE 03 鶴川地区協議会

実施事業名：ハッピーフライデー

朝川市民センターと協力して、課題別のテーマを設定し、地域住民のためになり、なおかつ楽しい企画を毎月開催。地元野菜の販売、キッチンカーによるランチ提供も人気です。



CASE 02 町田第二地区協議会

実施事業名:見守り事業

地域の交通安全や防犯等に対する体制を整え、子どもたちが安全・安心に登下校できる地域をつくるため、「登下校時のいっせい見守り」を定期的に実施しています。



CASE 04 南地区協議会

04 実施事業名：みなみひまわりプロジェクト

「南地区を元気にしたい！」
という思いから始まった住
民主体のプロジェクト。7月
に植えたひまわりの種が
見事な大輪の花を咲か
せ、子どもたちや地域を見
守ってくれた。



市内には多様化する地域課題の解決をサポートしたり、地域をさらに活気ある魅力的な街にするために活動をする組織が多数あります。地域活動を始めるうえでも、それらの組織の取り組みを知り、活動に生かすことで、仲間づくりや協働事業推進のきっかけになるのではないかと思います。そこでサポートオフィスがそれらの組織を訪問し、地域活動の状況が連携、協働できるポイント等を具体的に紹介する〈地域の取り組み・仕組み大解剖〉を今後お届けしていこうと思います。

今号では地区協議会をご紹介します。地区協議会の取り組みをさらに知り、今後より連携を深めていきつづけていこうと考えています。

INTERVIEW

各地協議会では、地域で活動する人や
団体の皆さんの支援や連携・協働をしながら、
様々な地域活性化事業を推進しています。
ここではその一例として、講演会「ヤングケアラーを知ろう
～地域の繋がりでできることを考える～」を実施した
木曾地区協議会の皆さんに、
開催までの道のりや今後の取り組みについて
インタビューした様子を紹介します。



お話を聞かせてくださった木曽地区協議会役員の皆さん。左上から三沢さん、金田さん、友田さん。左下から藤崎副代表さん、金子代表、一戸副代表。木曽地区協議会の取り組みは右記2次元コードのリンク先でご確認いただけます。

木曾地区協議会

—— サポートオフィス

ヤングケアラー＝当事者であり、その体験を元に現在は自らの経験や、ケアをする過程の中での気づき【自分らしく生きる】に講演等の活動をしている木曾地区在住の友田智恵恵さんと会を実施したそうですが、どんなことがきっかけで実施にしょうか？

せる場所がないので、一人で抱えてしまいSOSが出しにくい現状を知った」「助けての声を受け止めて支援に繋げたい」などの感想が寄せられました。「私たちの身近にも起こりうること」という認識を地域の皆さんと共に持てたことが大きな収穫でした。

— サポートオフィス

今後、地域活動をされている方や団体が、地区協議会とともに活動を進めるコツがあれば教えてください。

——木曾地区協議会

どうやって事業を進めるかは各地区によって異なると思いますが、私たち木曾地区協議会では、地域の特性や課題に沿ったテーマであれば、ぜひ力を揃いみたいと思っています。具体化する地域のお困りごとにはもちろん、この地域にずっと住み続けたいと思える価値を生む事業を実施するために木曾地区協議会は広く扉を開けています。お気軽にご相談ください。

川ヤングアラー：本来大人が思うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることもや若者のこと。本道なら享受できたはずの、勉強に励む時間、部活に打ち込む時間、将来に望みを抱かせる時間、友人とのたわいもない時間といった「こどもとしての時間」を待たないといふ理想が注目をされている。

—— サポートオフィス
開催した際の参加者の反応はいかがでしたか？

—— 木曾地区協議会

まとめ リポートオフィス×地域の取り組み

地域活動団体の皆さんにとって、地域でネットワークを構築しながら地域活性や交流の場づくりをされている地区協議会の取り組みは、活動の幅を広げていくためのヒントがたぐいであるのではないでしょうか？私たちサポートオフィスでは地区協議会だけでなく、本年度、地区公民館協議会（地区公民館）とも連携して事業を実施する機会がありました。これらの情報と一緒に活動をしてみたいと思った団体の皆さんは、まずサポートオフィスにご相談ください。実現したいことを共に深めたい、各所へのコーディネートをお願いします。

國際社會福利
編譯會(1994)。



中東・トルコ・イスラエルの
地域間の貿易の拡大につなぐ

